

平成21年度 第3回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 平成22年3月16日(火) 午後2時00分～4時00分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】

委員

加藤 勇夫〔愛知学院大学商学部客員教授〕
河木 照雄〔豊田商工会議所副会頭〕
杉戸 厚吉〔社団法人地域問題研究所計画部長〕
浅井 良隆〔コンサルティング オフィス アット・ドリーム〕
澤田 恵美子〔豊田市消費者グループ連絡会会長〕
松井 栄子〔三州足助公社〕

事務局

関 範夫〔豊田市産業部長〕
鈴木 辰吉〔豊田市産業部調整監〕
太田 錬治〔豊田市産業部商業観光課長〕
横山 薫〔豊田市商業観光課副主幹〕
清水 章〔豊田市産業部商業観光課係長〕
小林 洋明〔豊田市産業部商業観光課主査〕
鈴木 啓介〔豊田市産業部商業観光課主査〕

傍聴者

なし

【次 第】

- 1 開 会
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 3 委員長あいさつ
- 4 審議事項
 - (1) がんばる商店街応援プランローリング作業について
 - (2) 中小企業団体等事業の評価について
- 5 閉 会

【会議録（要約表記）】

1 開会

事務局より、平成21年度第3回豊田市商業振興委員会の開会の宣言が行われた。

2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて

事務局より、資料の確認、傍聴人数、審議スケジュールについて説明が行われた。

3 委員長あいさつ

加藤委員長よりあいさつが行われた。

4 審議事項

(1) がんばる商店街応援プランローリング作業について

事務局より資料に基づき内容説明を行い、委員から意見をいただいた。

【主な質疑応答】

委員

まず取り組むべき事項など優先順位があるか？全ての内容について、来年度中に取り掛かるのは非常に難しい宿題。

事務局

本資料は事務局で考えられる視点を頭出ししただけ。こういった視点が欠けているのでは、といった意見をいただきたい。豊田市は「モノづくりのまち」とはいつでも、市民が豊かに暮らしていくに足りるだけの商業＝小売吸引力1.0を目指していく必要はある。

委員

地域課題に取り組むNPOの総数はどれくらいいるのか。

事務局

市民活動センターに確認する。

委員

商業団体の指導、農商工連携、経営革新など中小企業・商業者の目線に立てる商工会議所・商工会の役割が重要。成功例を見せ、そこへ仕向けていくことが大事。

事務局

指導団体への支援方法についても検討していただきたい。

委員

これから高齢化が進んでいく。地域で安心して買物できることが大切。行政の支援も大事だが、商店自身の努力が必要。

事務局

生活支援としての商業機能に対する支援と、従来の賑わいづくりとしての商業機能に対する支援という2つの視点に分けて検討する必要がある。

委員

名古屋で買物する部分と豊田市で買物する部分とで上手に使い分けができれば、それは消費者にとって便利な生活といえるのでは？そうすると小売吸引力が1.0必要かは疑問。商業振興として考える場合、商店街振興だけ

で良いのか？大きな売上を占める大型店・チェーン店の力を地域にどう取り込んでいくかも検討すべき。また、高齢化社会を見据え、市民の豊かな生活を保障する商業環境についても検討していくならば、その担い手は商業者だけでなく、NPOや地域団体も考えられるのではないか。

事務局

豊田市に住む魅力として象徴的に小売吸引力 1.0 と話をさせていただいてだけで、それがそぐわないということであれば検討する。また、大型店・チェーン店を活かしていく仕組みも検討する必要があるかと思う。商業の売上を伸ばすだけでなく、まちづくりを進める上で商業が果たすべき役割も検討していきたい。

委員

がんばりたくても方法がわからない商店街を支援していきたい。

委員

商業の振興により豊田市を運営していく財源・税収を作り上げるという視点が大事。大型店等への支援についても考えるのであれば、地域の中での責任、貢献をさせるようなルールづくりをすることが必要。

事務局

商店街の人材育成方法のアイデアはないか？

委員

一店逸品運動は内面を磨く個人勉強のため、面的な広がりができていない。その成功事例を見せながら、少しずつその活動に引っ張り込むように進めていくことが必要。

委員

商店街ツアーでお客さんを店に連れてきてプレゼンをさせることで、店主に自店のことを考えさせる機会を作るという手法もある。プレゼンが良ければ今後の顧客となる可能性もある。個人商店は人数も少ないため、座学で教室に集めるのは難しい。

委員

駅前大型店が撤退したらどうするか？その点も検討しておく必要がある。

委員

中心地と中山間地域では目標が違うはず。商業者のための商業振興か、消費者のための商業振興かも検討すべき。

事務局

いただいた意見を元に整理させていただく。来年度、ローリングの作業に合わせ、豊田市の商業現況と消費者購買動向・ニーズ把握調査を実施する。調査方法案について、意見をいただきたい。

委員

ローリング作業に活かせるよう6月くらいに中間報告をいただきたい。調査には豊田市商業協同組合の加盟店舗も協力する。

委員

商店街に対するニーズを聞くのか、生活していく上でのニーズを聞くのかの整理が必要。ただ何が必要ではなく、どういうニーズがあるので必要であるということ把握しなければならない。

事務局

いただいた意見を元に整理させていただく。

(2) 中小企業団体等事業の評価について

事務局より、資料に基づき内容説明を行い、評価結果決定の際に参考とする意見を委員からいただいた。

【主な質疑応答】

特になし

委員

 委員会として評価結果は妥当であるとする。

5 その他（連絡事項）

今後の予定

平成22年度 第1回開催予定日 平成22年4月28日（水）14:00～

以上